

ＪＲ線の整備推進のための助成制度の創設について

【担当省庁】国土交通省

ＪＲ線の整備をより機動的に推進するためにも、ＪＲへの直接助成制度及び整備費用を負担する自治体への助成制度を創設していただきたい。

＜整備が必要な路線＞

- ・ J R 山陰本線 高速化・複線化 (園部～綾部)
- ・ J R 奈良線 高速化・複線化 (JR 藤森～宇治、新田～木津)
- ・ J R 片町線 高速化・複線化 (松井山手～木津)
- ・ J R 関西本線 複線化 (木津～加茂)
電化・複線化 (加茂～月ヶ瀬口)

【現状・課題等】

- ・ＪＲ線の整備については、国の『幹線鉄道等活性化事業費補助』等の助成制度があるものの、補助対象は法定協議会もしくは自治体の出資に係る鉄道施設の整備
- ・保有を目的とする法人に限定されており、ＪＲへの直接助成が不可能
- ・ＪＲ線等の幹線鉄道の整備は、広域的な地域間の連携の強化や地域の活性化に大きく寄与するものであり、これまで府及び沿線自治体が整備費用の一部を負担
- ・現在実施中のＪＲ奈良線高速化複線化第二期事業の事業費 369 億円のうち、府及び沿線自治体負担はそれぞれ 138 億円と莫大

	J R西日本	京都府	市町村	計
負担額	93 億円	138 億円	138 億円	369 億円

- ・ JR線は、国土の均衡ある発展、地域の交流を支える基盤となるものであるにも関わらず、その整備を進める沿線自治体の負担に対する財政支援措置はなく、財政力の脆弱な市町村においては大きな負担

京 都 府
の担当課

建設交通部 交通政策課(075-414-4360)

■府域の鉄道整備状況の状況

府域鉄道整備状況と事業箇所図

平成31年4月時点

	S53	S58	S63	H5	H10	H16	H30
電化率 (%)	府 6.9	6.9	34.1	58.2	80.0	93.3	93.3
	全国 38.3	42.1	50.3	55.0	54.8	55.6	56.3
稼働比率 (%)	府 11.5	11.5	14.1	18.4	18.4	22.7	32.2
	全国 26.4	27.2	31.3	33.0	33.0	33.1	33.0

電化率・稼働比率は各年度末時点の12月

電化率・複線化率は各年度実施点の

